

# Talk

2025.10/30 (木)  
19:00 ~ 21:00

東京大学 ACUT – FabCafe Tokyo

秋のミニシンポジウム

## バイオミメティクスと アートミメティクス

～ ACUT2024 プロジェクトを振り返って ～

わが国のアカデミズムは理系と文系、それに芸術系に分断されていると言  
ってよい。それぞれの間をむりやり繋ごうとする試みは、果てしのない「い  
かがわしさ」の香りを漂わせる。しかし、人文学における「アクターネッ  
トワーク理論」、工学における「バイオミメティクス」、あるいは分子生  
物学における「形態」への接近は、異分野間の構造的親和に現れたごく自  
然な人間性の発露であるとも言える。本年初頭、「ACUT2024」プロジェク  
トは、東京大学本郷キャンパス構内に仮設「アートセンター」を4か月間  
現出させた。この「ソノ アイダ #東京大学」の藤元明ディレクターを再  
び迎え、東京大学アートセンター（ACUT、芸術創造連携研究機構）の気鋭  
の研究者たちが、大学アートセンターにおける異分野接続をきっかけとし  
たイノベーションの可能性を探る。

### プレゼンテーション

藤元 明 （アーティスト、「ソノ アイダ」代表）

舘 知宏 （ACUT 副機構長、折紙工学）

田中 庸介 （ACUT 副機構長、分子細胞生物学）

### ディスカッサント

加治屋健司 （ACUT 機構長、表象文化論）

中井 悠 （ACUT フェロー、表象文化論）

入場無料 + 1 drink order | 要事前申し込み | 対面のみ（先着 30 名）

日時：2025 年 10 月 30 日(木) 19:00～21:00

会場：FabCafe Tokyo（渋谷・道玄坂上）

住所：東京都渋谷区道玄坂 1-22-7 道玄坂ピア 1F

URL：<https://fabcafe.com/jp/tokyo/>

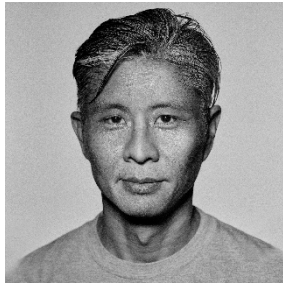
主催：東京大学芸術創造連携研究機構（ACUT）

共催：FabCafe Tokyo

お問い合わせ：田中 ([fd6y-tnk@asahi-net.or.jp](mailto:fd6y-tnk@asahi-net.or.jp))

お申込みフォーム：<https://forms.gle/aRKftzxmjQsNJ6oj6>





**藤元 明 Akira Fujimoto** アーティスト、ソノ アイダ代表。1975 年東京生まれ。東京藝術大学デザイン科卒業、FABRICA(イタリア)に在籍後、東京藝術大学美術学部大学院修了。エネルギーを根底とした環境・社会現象をモチーフに、様々な方法で絵画作品やインスタレーション、アートプロジェクトを展開。主な活動に「NEW RECYCLE®」「2021」「陸の海ごみ」「FUTURE MEMORY」など。2015 年より都市の隙間をアーティスト活動の場として活用する『ソノ アイダ』を主催。 <https://vimeo.com/akirafujimoto>

**舘 知宏 Tomohiro Tachi** 東京大学大学院総合文化研究科教授。2005 年東京大学工学部建築学科卒業。2010 年同大学院工学系研究科。博士（工学）。2002 年から折紙設計をはじめ、Origamizer、Freeform Origami などの計算折紙ツールを開発。研究対象は自然と芸術における形状、機能、製作で、専門は折紙工学、構造形態、コンピュータシミュレーション・ファブリケーションなど。東京大学教養学部で STEAM 教育に従事。共著に「コンピュータシミュレーション・ファブリケーション — 「折る」「詰む」のデザインとサイエンス」。JST 創発的研究支援事業「つながるかたち：アート・自然の次元横断原理を計算可能とする」研究代表。



**田中 庸介 Yosuke Tanaka** 詩人、細胞生物学者。東京大学大学院医学系研究科講師。エクソソーム、再生医療、左右軸決定など、生体現象の顕微鏡による可視化に取り組み、40 報以上の英文論文がある。芸術活動として、川崎市岡本太郎美術館「ことばで遊ぶ」展ゲストキュレーション(2017)、鉄犬ヘテロトピア文学賞選考委員(-2020)、ACUT2024 プロジェクトディレクター。詩集に『ぴんくの砂袋』(第 37 回詩歌文学館賞)ほか 5 冊。現在、ACUT 副機構長ならびに藝大×東大ベンチプロジェクトディレクターとして、学生のベンチ製作・社会包摂の企画進行を担当。詩誌「妃」(1989-現在)を編集し、アートと自然科学を通して「新しいリアル」を追究する。

**加治屋 健司 Kenji Kajiya** 美術史家。東京大学大学院総合文化研究科教授、東京大学芸術創造連携研究機構機構長。アメリカと日本を中心とする第二次世界大戦後の美術を研究。著書に『絵画の解放 カラーフィールド絵画と 20 世紀アメリカ文化』(東京大学出版会、2023 年)、編著に『宇佐美圭司 よみがえる画家』(東京大学出版会、2021 年)、共編著に From Postwar to Postmodern, Art in Japan 1945-1989: Primary Documents (New York: Museum of Modern Art, 2012)、『中原佑介美術批評選集』全 12 巻(現代企画室+BankART 出版、2011-25 年)など。



**中井 悠 Yuu Nakai** No Collective のメンバーとして音楽、ダンス、演劇、お化け屋敷などを世界各地で制作。並行して実験的電子音楽、パフォーマンス、影響や癖のからくりなどについて研究。著書に『Reminded by the Instruments: David Tudor's Music』(Oxford University Press, 2021) など。翻訳に『調査的感性術』(水声社、2024)、『フォレンジック・アーキテクチャー』(水声社、2025) など。東京大学准教授(表象文化論)、アヴァンギャルドアート部会主任、副産物ラボ主宰、東大アルスノーヴァディレクター。